

学校教育目標	すすんで学び 笑顔かがやく さわの里～「やりぬく力」を育てます～ ○すすんで課題解決に向けて取り組み、最後までやり抜くことができるようにします。(知) ○気持ちのよいあいさつができ、友達や自分を大切にできるようにします。(徳) ○元気に遊び、しっかりと食べ、生活習慣に気を付けて生活できるようにします。(体) ○地域や集団における自分の役割を理解し、すすんで参加、協力できるようにします。(公) ○自分と友達や身の回りの人との違いを受け止め、すすんでコミュニケーションをとることができるようにします。(開)				
	創立 13 周年	学校長 後藤 俊哉	副校長 高橋 佐紀子	3 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 325 人 主な関係校: 浜中学校 富岡中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<やりぬく力> <言語能力>	浜中学校 杉田小学校 梅林小学校	・気持ちのよい挨拶ができる子 ・時間を守れる子 ・友達を大切にできる子 ・9年間を見通した「基本的な生活習慣の確立」を目指した生活指導、保護者との連携のあり方を構築する。 ・「学習のつまづき」の発見と対策に向けて小中合同教科研究会の充実を図る。 ・「授業でつながる」をキーワードにして、小中間での教科の情報交換と研究を推進し、学習内容の系統を重視する。

中期取組目標	○一人ひとりのよさや課題をつかみ、子ども自身が成長を実感できるようにしていきます。 ・「資質・能力」の育成のため、今の子どもの姿をしっかりと捉え、そのためにどのような学びがあればよいかを考え、授業を創り出します。 ・「魅力ある」授業、「できた」「わかった」が生まれる授業を行います。 ○「あいさつ」あふれる、「話す」「聴く」名人の子ども、「豊かな心」を育てていきます。 ○「学校が好き」「友だちが好き」「まちが好き」という気持ちを育みます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 重点研推進	①子どもの実態をつかみ、何が課題でどう具体的に改善していくのかを明らかにする。②1時間毎の課題を明確にし、知識・技能の定着を図る学習活動の充実と、学習の振り返りを行う授業を推進し、子どもにどんな力が身に付いたかを明らかにする。
豊かな心 担当 道徳	①なかよし班活動などで一人ひとり、また互いの関わりを大切にしたい集団活動や体験的な活動の充実を図る。②「特別の教科 道徳」では、研究で取り組んだ、子どもが自分自身の問題としてとらえ、向き合うために必要な指導方法や評価の在り方、教材の効果的な活用方法等を共有する。
健やかな体 担当 体育	①子どもの実態をつかみ、何が課題でどう具体的に改善していくのかを明らかにする。②運動の楽しさや喜びを味わえるよう、授業の充実を図り、主体的に運動するきっかけづくりのために職員の研修を行う。③食の自己管理ができる児童育成の向け、実態に応じた食育の取組を推進する。
特別支援教育 担当 特別支援	①児童への対応の仕方等でケース会議を行い、支援の手立てを講じていく。②学習に困り感のある児童の取り出し授業を行う。③個別支援学級の児童が一般学級の学習や行事等に参加できるよう、交流の意義を明らかにし、保護者との連携を密に行う。
児童生徒指導 担当 児童指導	①職員間で「指導のスタンダード」を共有し、ぶれない指導をしていく。②「さわの里モラル」への意識を高め、毎月の生活目標と重ねた指導をしていく。③毎月の会議で、「児童理解」の時間を設け、児童の実態把握に努め、指導の具体を検討し、全職員で指導に当たる。
地域連携 担当 学校地域コーディネーター	①「学力向上」や「健康」「安全」に向けて、家庭でできることを伝え、連携していく。②地域清掃・地域防災訓練など学校が協力できることを考え、児童と職員が積極的に参加できるようにする。③保護者の学校教育への関心を高めるため、具体的な内容で、発信していく。
カリキュラム・マネジメント 担当 重点研推進	①学年暦を更新していくことを通して、日々の実践を生かし教育効果が発揮できるようにしたカリキュラム・マネジメントを行う。②重点研究を通して、新学習指導要領に向かう、「資質・能力」を育成するため、児童の姿を捉えたり、どのような授業をしていくか研究する。
学習評価 担当 学状・学習評価	①信頼性・妥当性のある評価のあり方、今後の新学習指導要領の三観点の評価について教員間で研修する。②学習評価を行う際には、単元や題材のまとまりを見通し、学習の過程や成果を評価していくことが重要であることを認識していく。
いじめへの対応 担当 児童指導	①いじめを許さない、見過ごさない雰囲気づくりに努める。②児童の自己有用感を高め、自尊感情を育む教育活動を推進する。③「いじめはどこの学校でも、どの児童にも起こりうるもの」の基本認識で、職員が児童の観察を丁寧に行い、小さな変化を見逃さない鋭い感覚を身に付けておく。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務・メンターチーム	①メンターリーダーを中心に、課題を出し、共有化し、解決に向け具体案を出すことで、5年目以下の経験者の授業力向上を図る。②企画会・職員会議資料を学年・ブロックリーダー、教務、管理職による企画会→職員会議と全体で提案事項を練る機会を設け情報の共有化を図る。③グループウェアを活用や「電子申請システム」を活用して事務の簡便化、効率化を図り、働き方改革につなげる。